２０２１年度ユース審判員派遣 in Ｕ－１２選手権

（一社）青森県サッカー協会審判委員会

１．大会名　２０２１　ＪＦＡ第４５回全日本Ｕ－１２サッカー選手権大会
２．期　日　２０２１年１０月１７日（日）
３．会　場　五戸ひばり野サッカー場
４．参加者

ユース審判員

- 山崎　匠悟（サッカー２級）
- 久保沢　透大（サッカー３級）

審判インストラクター

◆ 袴田　健(県審判委員会強化・指導育成部ユース担当)

５．競技方法（抜粋）

- 競技規則は（公財）日本サッカー協会「８人制競技規則」に準ずる。
- 試合時間は４０分（ハーフタイムのインターバルは１０分)。ただし、競技時間内に勝敗が決しない場合は１０分間の延長を行い、なお決しない時は３名によるＰＫ方式により次回進出チームを決定する。決勝戦も同様とする。
- 交替人数は８名までの自由な交代。
- 本大会期間中、警告を２回受けた者は次の１試合に出場できない。本大会において退場を命じられた選手は次の１試合に出場できず、それ以降の処置は規律フェアプレー委員会で決定する。

６．会場の様子

７．参加者レポート

● 山崎　匠悟（サッカー２級ユース審判員）

今回の大会参加にあたり、大会関係者をはじめ、多くの方のご協力のもと参加することができました。ありがとうございます。

過去に県外で８人制１人審判の研修会に参加してたくさんのことを学ばせていただいており、その学びを体現しようと思って大会に臨みました。試合では、概ね良いポジションからの判定ができていたと評価していただきました。ただ、試合中に選手への声掛けをどのように行えばよいかと新しい知識を袴田ＩＮＳより得ることができましたので、今後の試合で実践していきたいです。

大好きなサッカーに自分自身が一生懸命にそして愛情をもって関われば、勝利を求めてプレーする選手に対して審判員としての信頼が高まり、試合がより良いものになると私は信じています。今大会ではそれを改めて感じることができました。今後も今の気持ちを忘れず、様々なことを学び、安心して試合を任せていただけるように成長していきたいです。ありがとうございました。

● 久保沢　透大（サッカー３級ユース審判員）

今回、８人制一人審判を初めてやらせていただきました。今までやったことない一人審判に最初は不安でしたが、袴田インストラクターやいろいろな方々からアドバイスをいただき、全力で審判をすることができました。反省点は、自分の中でファウルの基準が曖昧だったところです。ルールブックをもう一度よく見直して、自分とルールブックの基準が同じになるように努力していきます。

今回は大変貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。これからも良いレフリーになるために、努力して参ります。

◆ 袴田　健（審判インストラクター）

新型コロナウイルス感染症の脅威もひとまず小康状態を保っている難しい環境下で、大会開催と運営に携わった皆様に心から敬意を表します。また、そのような状況の中で全国大会につながる重要な試合にユース審判員を受け入れ、あたたかく見守って頂いた４種委員会並びに参加各チーム関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

今回も大会出場チームのレベルが高く、さらに各地区から選りすぐられた参加審判員のレベルも高かったため、参加させて頂いた２名のユース審判員は学ぶ機会を数多く頂くことになりました。ひとつひとつのプレーに全身全霊をかける小学生たちの姿、それを支える周囲の大人たちの姿を見て、そのような方々の「思い」に寄り添い、受けとめ、そしてサッカーという競技の中で深く彼らに関わる審判員とはどうあるべきか。大先輩の審判員たちの姿を見ながら、青森県サッカー界の将来を競技者とともに担う若い審判員たちは多くのことを学んでくれたと思います。ここで頂いた経験を彼らのサッカーおよび審判活動のみならず、人生の大いなる成長の糧になればと祈念しています。

８．補足

試合結果は、以下の Web ページに記載されています。そちらをご覧下さい。

（一社）青森県サッカー協会４種委員会 http://www.aomori-fa.jp/category/committee/all-committee/u12/